

日タイ物流政策対話 議事概要

〈両国の物流施策の取り組みについて〉

- 日本からは、我が国の総合物流施策大綱の推進に向けた主な取組内容を紹介するとともに、タイより求められた越境物流の事例として、日中韓物流大臣会合の枠組で決められた主要イニシアティブの取組内容について紹介した。
- タイからは、2022年に向けたトラックターミナル等の整備計画、トラック輸送における安全運行管理の向上を目的とした、GPSトラッキングシステムの導入及び我が国制度を参考として策定中の運行管理者制度の概要について説明された。

〈タイにおける物流課題について〉

- (1) バンコク市内のトラック走行規制について
 - ・ 日本より、タイ運輸省がバンコク市内の渋滞緩和策として打ち出した大型貨物トラックの日中走行の規制について、今後の予定について意見を求めた。
 - ・ タイ運輸省国際協力局より、本規制の実施については現在検討中と回答があった。
- (2) スワンナプーム空港上屋における保冷貨物専用のトラック積み込みスペースの整備について
 - ・ 日本より、同空港上屋において、温度管理が求められる商品類等が外気温に触れることなく、トラックへ積み込むための保冷貨物専用の積み込みスペースの整備計画について意見を求めた。
 - ・ タイ空港公社より、温度管理が必要とされる輸出貨物に対し、2020年以内に保冷貨物専用の輸出レーン（Premium Perishable Lane）を設置予定と回答があった。

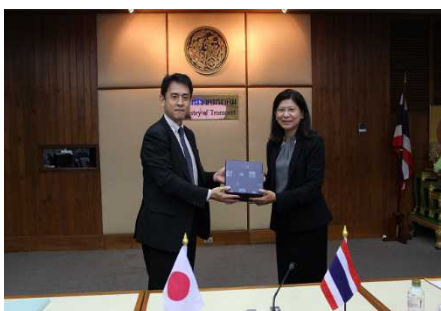
〈コールドチェーン物流の取り組みについて〉

- 日本からは、タイにおける小口保冷輸送サービス展開に関するパイロット事業の概要及び結果について情報提供を行った。
- タイからは、保冷輸送の品質に関する国家規格（Q Cold Chain）の策定内容について情報提供があった。

〈グリーン物流の取り組みについて〉

- 日本からは、グリーン物流促進の重要性及びASEAN各国における「グリーン物流パートナーシップ会議」の立ち上げ支援内容等について情報提供を行った。
- タイからは、タイの運輸物流におけるCO2削減目標の共有及びグリーン物流促進の取組事例として、エコドライブ講習等について説明された。

【ギフトエクステンジ】



【政策対話の様子①】



【政策対話の様子②】

